

熟修
人研
泊研
耕宿

奥松島の豊かさ満喫

防災学習や漁業体験

中高生が人間力を育

む「耕人塾」(木村民男塾長)の宿泊研修が10-11日、東松島市の旧野蒜小学校舎を活用した防災体験型施設「KIBOTCHA」(キボッチャ)であった。第8期生のうち18人が石巻専修大学の学生や石巻管内の教諭ら17人とともに参加。同施設

験で思い出を深めた。

耕人塾は同大学の教授や学生、地域の中学校教諭、民間企業や団体からの協力者で運営。毎年この時期に宿泊研修しており、今年

は奥松島の自然に触れつつ、生徒同士の交流を深めることなどを目的とした。研修初日は、耕人塾

のグループで夜に行う

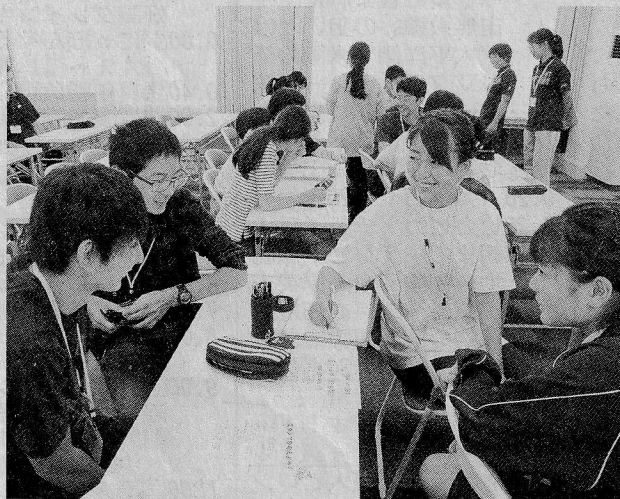
キャンプファイヤーで披露する寸劇の台本作りや練習に励んだ。夕方には奥松島を一望できる大高森の頂上で日の入りを拝み、暗くなるとキャンプファイヤーの灯りの中で寸劇を披露した。

2日目は朝から、東日本大震災後に整備された防災集団移転団地である野蒜ヶ丘地区を歩きながらゴミ拾いを

実施。その後、刺し網体験で豊かな自然の恵みを体感した。

石巻北高校飯野川校1年の相澤丈さん(15)は「夏休み期間

に何か自分を高める活動をしたと思うて参加した。これまで体験したことのない奥松島の自然を満喫できた」と話していた。



キャンプファイヤーに向け、寸劇の内容を話し合った